



令和5年度 猪名川町立つつじが丘小学校

学力向上プラン



めざす児童像

- 楽しく学びに向かう子
- 言葉を大切にする子
- 自分の夢を持つ子、語れる子
- 集団の中で輝く子
- 自分を大切にする、相手も大切にする子

学校教育目標

子どもたちのところに、

学び・自信・笑顔の花を咲かせる学校

令和5年度の本校の「学力向上プラン」を以下のとおり定め、本校における全ての教育活動を通じて、全教職員が一丸となって全校児童の学力向上に取り組みます。

「学力」にかかる本校の課題（令和4年度全国学習状況調査結果より）

- ☆ 全国・兵庫県と本校の正答率を比較すると、全教科にて平均を下回っていた。
- ☆ 基礎・基本の内容の定着に個人差がある。
- ☆ 家庭学習が定着していない児童がいる。
- ☆ 生活習慣に課題があり、改善の必要のある児童がいる。

【国語】

◆ 「言葉の特徴や使い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」の領域に課題がある。

◆ 特に短答式・記述式の問題形式に課題がある。

【算数】

◆ 「図形」「変化と関係」の領域に課題がある。

◆ 特に短答式の問題形式に課題がある。

【理科】

◆ 『「粒子」を柱とする領域』『「地球」を柱とする領域』に課題がある。

◆ 特に短答式の問題形式に課題がある。

【質問紙調査より】

◆ 「5年生までに受けた授業では、各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動になっていたか」という質問に対する前向きな回答の割合が少ない。

◆ 家で計画を立てて勉強をしている児童が少ない。

「家庭学習」の充実に向けて

○ 家庭学習の習慣化により、学習内容の定着を図る（目安：学年×10分+α）

- ・ 全学年、毎日宿題を出す（漢字・計算・音読・その他）
- ・ 高学年は、自主学習に取り組ませる

学力向上プラン 1

～知識・理解・技能などの基礎・基本の確実な定着に向けて～

○ 基礎学力の定着の充実

- ・ 「話す」「聞く」「書く」「読む」活動の充実
- ・ 個に応じた教科書指導～ユニバーサルデザイン化の推進～
- ・ アクティブラーニングの推進
- ・ ICT機器を活用した授業
- ・ 系統的なプログラミング学習の実施
- ・ 外国語活動、英語学習の取り組み

○ 朝学習の充実

- ・ 朝学習として新出漢字の習熟などを進め、国語の授業をたっぷり単元の学習に使えるようにする。

○ 個に応じた指導の充実

- ・ 兵庫型教科担任制や少人数授業など、個々の意欲を大切にしたいきめ細やかな指導を実践
- ・ 個別の支援計画、個別の指導計画の作成
- ・ 専門家（SC、SSW等）や専門機関との連携

○ わかって楽しい授業の実践

- ・ 「やってみたい」「おもしろそう」と思える授業実践
- ・ 授業におけるユニバーサルデザイン化の推進
- ・ 効果的なICT活用

○ いなぼう学習タイム

- ・ 放課後の時間を活用した個別補充学習の実践
- ・ 学習サポーターを活用し、個別支援の充実を図る

○ いなぼうアタック

- ・ 体幹を鍛え、正しい姿勢の定着と集中力の向上を図る

○ コグトレの実施

- ・ 認知トレーニングの育成を目的として実施
- ・ 学年に応じた課題設定
- ・ 朝の時間に実施し、落ち着いた雰囲気のまま1校時へ移行

学力向上プラン 2

～「言語活動」の充実に向けて～

○ 読書教育の充実

- ・ 朝の読書タイム
- ・ 授業における図書資料の活用
- ・ 「読んでみよう本」の作成、活用
- ・ 図書ボランティアによる本の読み聞かせ

○ 階段掲示板を用いた児童作品の掲示と鑑賞

学力向上プラン 3

～地域や家庭とつながる学校づくり～

○ 地域とともにある学校づくりの推進

- ・ コミュニティスクールの推進
- ・ 学校評価の実施と速やかな対応
- ・ ゲストティーチャーの活用
- ・ コロナ禍での工夫した授業・オープン参観の実施

○ 保護者・地域への情報発信と連携

- ・ 学校だより、HP等の充実
- ・ 地域行事への参加
- ・ 学校支援活動の充実

学力向上プラン 4

～学習基盤の確立に向けて～

○ 授業規律の徹底（学習準備・挨拶・姿勢・聞く態度）

○ 授業開始終了時刻の徹底

○ 学習集団の認め合い学び合い